

植防いしかわ

編集・発行

公益社団法人 石川県植物防疫協会

金沢市田中町か26-1
石川県農業共済会館内
TEL 076-239-1511

印刷 株式会社 共栄

令和2(2020)年11月30日発行

No. 155

はじめに

会員の皆様をはじめ、関係機関の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当協会では11月末日をもちまして、令和2年度の農薬試験が全て終了し、次年度の農薬試験実施に向けて準備を始める時期となりました。

はじめてのラボツアー

当協会で実施している農薬試験事業のなかに、一般社団法人日本植物防疫協会（以下「日植防」）から受託する作物残留試験（以下「GLP試験」）があります。

このGLP試験は、日植防が農薬メーカーから依頼を受け、日植防も含めた全国の植防協会で行われています。



日植防は独立行政法人農林水産技術センター（以下「FAMIC」）農薬検査部による農薬GLP適

合確認に係る査察を3年に一度受けており、その査察は日植防に加え日植防からの委託で試験を実施している全国の植防協会のいくつかが選定されて実施されます（ラボツアー）。

今回、当協会が平成22年3月5日に「GLP基本契約」を日植防と締結して以来はじめての査察を受けましたので、簡単にご報告いたします。

去る10月13日（火）に、FAMICから検査管理官2名、調査官2名、日植防3名の計7名が来訪されました。

査察内容は、散布機などGLP試験で使用する機器や被験物質の管理状況、生データ（ほ場試験



〈被験物質の保管状況〉

報告書などの書類）の管理状況の確認とGLP試験操作状況としての模擬散布でした。模擬散布は、桐山技術主幹がねぎの試験ほ場で実施しました。

当初、査察とは大変厳しい、怖いものとの先入観があり、事前準備に日植防にはいろいろとお世

話になりました。どうもありがとうございました。
日植防を含めた一連の査察が終了した時点で、
FAMICからは特段の指摘が無かったとの連

絡を受け、ほっとした次第です。これで安心せず、
これからも精度の高い試験の実施を心がけねば
と、改めて思った査察でした。



〈模擬散布〉



令和2年度 水稻等除草剤実験展示圃成績検討会の概要

令和2年10月1日に石川県農業共済会館大研修室において、標記の検討会を開催しました。出席者は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県農林水産部農業政策課、県農業試験場、県農林総合事務所および当協会に限らせていただきました。

検討会は、農業試験場中央普及支援センターの猪野雅哉担当課長の司会・進行で行われました。検討対象は、水稻除草剤が31剤（ほかに試験中1）、大豆除草剤が1剤でした。検討結果は表のとおりです。



作物名	農薬名	試験のねらい	実施機関	評価	依頼メーカー
移植 水稻	アットウZ1キロ粒剤	一発処理剤としての技術実証	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	協友アグリ
	ウルティモZ1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	三井化学アグロ

作物名	農薬名	試験のねらい	実施機関	評価	依頼メーカー
移植 水稻	エンペラージャンボ (剤型変更)	一発処理剤としての技術実証	津幡農林事務所 羽咋農林事務所	普及性あり	クミアイ化学
	カイリキZジャンボ	一発処理剤としての技術実証、 SU抵抗性雑草、 多年生雑草に対する効果確認	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	北興化学
	カウンスルコンプリート ／ボデーガードプロ/ ジャンボ (剤型変更)	一発処理剤としての技術実証、 SU抵抗性雑草に対する効果確認	加賀農林事務所 奥能登農林総合事務所	普及性あり	バイエルクロップサイエンス
	カウンスルコンプリート ／ボデーガードプロ/ フロアブル (剤型変更)	一発処理剤の水口施用としての 技術実証、SU抵抗性雑草に対する 効果確認	石川農林総合事務所 奥能登農林総合事務所	普及性あり	バイエルクロップサイエンス
	カウンスルコンプリート ／ボデーガードプロ/ 1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証、 SU抵抗性雑草に対する効果確認	県央農林総合事務所 奥能登農林総合事務所	普及性あり	バイエルクロップサイエンス
	キマリテジャンボ (剤型変更)	一発処理剤の水口施用としての 技術実証、SU抵抗性雑草に対する 効果確認	羽咋農林事務所 珠洲農林事務所	普及性あり	北興化学
	ジェイソウル1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	三井化学アグロ
	ジャンダルムMXジャンボ (剤型変更)	一発処理剤としての技術実証、 SU抵抗性雑草、 多年生雑草に対する効果確認	加賀農林事務所 珠洲農林事務所	普及性あり	シンジェンタジャパン
	ジャンダルムMX1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証、 SU抵抗性雑草、多年性雑草に対する 効果確認	石川農林総合事務所 中能登農林総合事務所	普及性あり	シンジェンタジャパン
	ゼータプラス1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	住友化学

作物名	農薬名	試験のねらい	実施機関	評価	依頼メーカー
移植 水稲	ツルギジャンボ	一発処理剤としての技術実証、SU抵抗性雑草に対する効果確認	県央農林総合事務所 奥能登農林総合事務所	普及性あり	SN協議会 日本農薬 エス・ディー・エスバイオテック
	ツルギ250粒剤 (剤型変更)	一発処理剤としての技術実証、SU抵抗性雑草に対する効果確認	石川農林総合事務所 羽咋農林事務所	羽咋農林で再試験	SN協議会 日本農薬 エス・ディー・エスバイオテック
	ドリフ1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証	南加賀農林総合事務所 県央農林総合事務所	普及性あり	バイエルクロップサイエンス
	プライオリティ1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証	中能登農林総合事務所 珠洲農林事務所	普及性あり	クミアイ化学
	フルスコアZジャンボ	一発処理剤としての技術実証、SU抵抗性雑草に対する効果確認	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	石原バイオサイエンス
	ベッカク1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証	南加賀農林総合事務所 奥能登農林総合事務所	普及性あり	クミアイ化学
	マスラオ1キロ粒剤	田植同時一発処理剤としての技術実証	南加賀農林総合事務所 中能登農林総合事務所 石川県植物防疫協会	初中期一発処理剤としては効果不安定	住友化学
	ジョキニー1キロ粒剤 (剤型変更)	田植同時処理の初期剤としての技術実証	石川農林総合事務所 県央農林総合事務所	普及性あり	クミアイ化学
	アレイルSC	中後期剤としての技術実証、多年生カヤツリグサ科、クサネムに対する効果確認	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	日産化学

作物名	農薬名	試験のねらい	実施機関	評価	依頼メーカー
移植 水稲	シアゲMF1キロ粒剤	中後期剤としての技術実証	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	三井化学アグロ
	ツイゲキ1キロ粒剤	中後期剤としての技術実証、クログアイ、オモダカ、シズイに対する効果確認	石川農林総合事務所 津幡農林事務所	普及性あり	クミアイ化学
	トドメMF乳剤 (剤型変更)	高葉齢のノビエ専用剤としての技術実証	石川農林総合事務所 県央農林総合事務所	普及性あり	トドメMF普及会 科研製薬 三井化学アグロ
	バイスコープ／ルナクロス／1キロ粒剤	中後期剤としての技術実証 ホタルイ、オモダカ、コナギ等ALS阻害剤抵抗性雑草への効果確認	石川県植物防疫協会	2年目実証へ	三井化学アグロ 北興化学
直播 水稲	アトカラS／セカンドショットS／ジャンボMX	後期剤としての技術実証	石川農林総合事務所 珠洲農林事務所	普及性あり	三井化学アグロ
	カウンスルコンプリート／ボデーガードプロ／1キロ粒剤	水稲播種時・播種直後処理での技術実証	県央農林総合事務所 奥能登農林総合事務所	普及性あり	バイオクロップサイエンス
	ジェイソウル1キロ粒剤	湛水直播栽培での技術実証	南加賀農林総合事務所 県央農林総合事務所	再試験	三井化学アグロ
	トドメMF1キロ粒剤	高葉齢のノビエ専用剤としての技術実証	加賀農林事務所 石川農林総合事務所 中能登農林総合事務所	普及性あり	トドメMF普及会 科研製薬 三井化学アグロ
	レブラス1キロ粒剤	直播栽培での技術実証	南加賀農林総合事務所 奥能登農林総合事務所	普及性あり	日産化学

作物名	農薬名	試験のねらい	実施機関	評価	依頼メーカー
刈跡 水稲	カソロン粒剤4.5 (成分量変更)	水稲刈取後10～ 20日後処理の一年 生雑草に対する効果 確認、翌年水稲への 影響確認	石川農林総合事務 所 中能登農林総合事 務所	試験中	アグロカネショ ウ
	カソロン粒剤2.5 (前年度未報告分)	水稲刈取後7～ 10日処理の一年 生雑草に対する効果 確認	津幡農林事務所 奥能登農林総合事 務所	普及性あり	北興化学
大豆	パワーガイザー液剤	大豆出芽揃期処 理の効果、薬害の 確認	石川農林総合事務 所 津幡農林事務所 中能登農林総合事 務所	普及性あり	B A S F ジャパ ン

訃 報

去る9月30日、当協会元理事の金原博氏がお亡くなりになりました。享年90歳でした。平成7年から昨年まで4半世紀に亘って当協会の理事を務めていただきました。理事会終了後、場を和ますお話をされていたことを懐かしく思い出します。長い間本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。



お知らせ

12月1日に開催を予定していました「植物防疫指導者研修会」を中止いたします。

一時期減少傾向であった新型コロナウイルス感染者数が、再び全国的に増加傾向となっており、終息時期が見通せない状況に陥っているためです。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

編 集 後 記

新型コロナウイルスはここに来て第3波が押し寄せてきています。第1波より第2波、第2波より第3波が大きな山となっているようです。今回のピークがこれまでの通算のピークであったとしても、収まるまでに1年近くはかかるのでしょうか。第3波がまだ減少に転じていないことを考えれば、さらに長年月を要することになります。一刻も早い薬、ワクチンの開発・一般への普及を強く望むところです。